

《2026年3月 聖書の言葉》

『主が、一步一步を備えてくださる。』

旧約聖書・箴言 16章9節

春になって、色々な花が咲き始めました。春になると咲く花がいっぱいあります。考えてみれば、花は一年365日ずっと咲いていません。春になって咲いた花ですが、春以外はどうしているの…？外側から見えませんでした、だんだん大きくなっていったのだと思います。咲く時が来るまで、「その時」を待っていたのです。自分の出番がくるから、そのために準備していたのでしょう。

「その時」を待っていたのは花だけではなく、夏のスイカや秋のお米、芋、冬のリンゴなど、野菜や果物たちが実るために、時を待っていました。

主なる神様は、咲いていない生命のことも忘れていません。

開花や収穫を待っている間も、もしもなかったら成長できず、枯れてしまう、大切な「空気」、「水」、「光」、「土」を、天の神様は届けてくださっていました。

地球上のいのちを育ててくださっている「主」= 中心の主人。

「生きて！」と用意してくださった恵みのおかげ。いつも、神様が無償で注いでくださっていました。それがなければ、わたしたちのいのちはありません。



「備えてくださる」とは、「隠れていたものが見えるようになる」という意味がある言葉だそうです。そうになると、未来の話ともつながってきます。ルーテルのみなさんは、未来の方向に向かって一步一步、ここまで進んできました。では、この先、どんな未来が待っているの？ どうなるかは誰にもわからない。それが未来ですと言われたら、そうだと答えるしかないのでしょうか？

判らないけれど、一つだけ…。 主が、備えてくださる、とは「約束」です。

「よい約束を持たせてあげたい」と思って、神様の言葉を、この一年も毎月、ルーテルのみんなに届けてきました。「神様があなたと一緒に」という約束が、不安な心を落ち着かせ、安心を生み出し、幼き心に意欲と勇気が根付くと信じ、いつも神様にお祈りしてきました。だから、次への一步を踏み出す時を前にしてお祈りました。

すると、一步一步。ゆっくりと、少しずつ歩いている〇〇さん、一段一段、階段を上っている〇〇くん。その姿を見つめて、手を添えておられる神様のイメージが浮かんできました。安心しました。

(チャプレン 白川道生)